

学体連会報

発行日・昭和 58 年 9 月 30 日
 東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号
 国立オリンピック記念青少年総合センター内
 財団法人日本学校体育研究連合会
 発行者・会長 大石三四郎

できないことをやらされる

会長 大石 三四郎



中学から、東京高等師範学校の体育科に入学した。この当時は何か運動部の選手をしていたものが高師に来て、校友会は文理大の名で対校試合に出たのである。私は中学の四年頃から、何とはなしにサッカー部に入部していた。その理由を今から考えると、学校側はサッカー部に不良の生徒が多いので、少しは真面目な生徒を入部させてみようということであったらしい。高師出身の加藤清先生で刈谷中学出身であられた。それが縁で、何とはなしに一年前の先輩が高師のサッカー部に入ったというので受験した次第であった。

入学してスグ使えるようなものではなかった私が秋になると、国文科出身のゴールキーパーが突然退部したので、その穴埋めとして使われることになった。サーア、大変である。イロハのイの字から練習である。頭のてっぺんから全身砂だらけになって、砂場でセービングのトレーニングである。それでいて、当時、東京の大学リーグに出たのである。やることなすこと素人のキーパー、失笑を買うやら、新聞に書かれるやらで、いやになってしまうほどであった。

二年生になると、キーパーの槍一筋で千石ともいえる名選手が入ってきたので、お払い箱となってほっとする。ところが、また秋になると、左のウイングが足りなくなった。そこでお前やれときた。ウイングといえば騎兵である。走力、キック力が十分でなければつとまらないポジションである。さーあ、大変である。左のセンターリングの練習から、切りこみのトレーニング、結果は、新聞に文理大のウィークポイントと指摘されるところとなった。これが二年生から四年生まで続く。時に、おろされたり、

強引に先輩に取って代わられたこともあったが、大体、左ウイングで通すことになった。

さて、高師の四年の二学期も終わり、リーグ戦も無事に過ぐすと、次は軍隊である。新兵さんとしての生活は一般の歩兵であった。ところが幹部候補生として、予備士官としてのコースは通信ときた。これは大変、モールスも、無線もいじったことがない。6ヶ月、死の苦しみをして原隊に帰ると、今度は通信の教官である。どうやって過ごしたのやら、とにかく夢中で見習士官を終わると、今度は野戦に出ることになった。野戦の一般の小隊長としてである。一般兵科は新兵として夢中で過ごしたが隊長職は初めてである。編成が終わると1ヶ月もしないうちに実戦である。今度はゴマカスがきかない。弾の下で汗びっしょりというより冷水三斗の思いが続く。

新兵時代、高師出身だからというので連隊本部に呼ばれて、下士官の進級辞令を書かされて冷汗をかいたことがある。これは逃げ帰るようにして隊に帰ったが、実戦の弾の下では逃げ帰ることができない。どうしたもんだらうか、とに角、なんとか、かんとかやったのだから不思議である。

敗戦になって、金沢高等師範学校に帰任すると寮の主任をやれといわれる。食糧もなにもないときに100名以上の学生の食事の世話をしろというのである。しかも、石川県には顔もコネもない。困ったね。このときも、死の苦しみがつづく。

そのうちに、教育統計を教えるようになる。できもしないくせに、相手は理科の学生で二年生のときに数理統計学をやってきている。これに応用統計学を教えるのだから、おそろしいものである。さんざん苦しみ、苦しめられて、何とかやるようになる。

そして、東京教育大学の体育学部へ転任して、ここで、体育統計なるものをやり出す。品質管理図などを応用して教えるが誰も相手にしてくれない。それが、今日、日本の基幹産業が品質管理図のおかげで伸び、逆に外国へ教えに行っているのである。そのうちに、体育や教育の方でこの品質管理図を夢中になって使うようになると確信しているのだが？

学体連に期待する

神奈川県教育庁指導部体育課長 宮原孝雄



第22回全国学校体育研究大会の開催に向けて、本県学体連の先生方は意欲的に準備を進めております。2年間に及ぶ準備をとおして企画、運営にあられる先生方の実践力、結束力に感服しております。そして、準備過程で小、中、高等学校の先生方が、それぞれ改めて、他校種の学習内容についていかに理解不足であったかを痛感した、と異口同音に申しております。今日、小、中、高等学校の一貫教育が強調されておりますが、そういう意味からも、本県で開催する意義を強く感じた次第です。本大会が、本県学校体育の充実発展に結びつくことはもとより、全国学校体育関係者にとっても有意義なものとなるよう、県学体連の先生方と共に一層努めていきたいと考えます。

今日、児童生徒を取り巻く社会環境の変化に伴い、学校体育の課題も多様化しております。学歴偏重の風潮、家庭や地域社会の教育機能の低下等は、児童生徒の日常生活行動に多大な影響を及ぼし、子供本来の活力に満ちた行動的な姿は失われつつあります。その結果、運動不足による体力の低下が問題化し、その解決が求められています。本県が実施した児童生徒の体力と健康に関する調査結果からは、体力では背筋力、柔軟性等低下している側面もあり、年々向上しつつある体位とのアンバランスが指摘され、併せてにも骨折、顔面のけがの増加等異常現象が現われており、児童生徒の体は憂うべき状況にあります。次代を担う児童生徒が心と体の調和を保ち、明るく豊かな学校生活及び社会生活が営めるようにするためにも、今後学体連の果たす役割は大きいと考えます。教科における学習指導では、児童生徒の運動の実践力を高めるために学習過程をどう構成していくか、教科以外の体育活動では、すべての子供が運動の楽しさや喜びを享受できるようにするためにどう計画し運営していかなければいけないか、更に、家庭や

30年近くも経って、定年も間近の60歳になると、副学長になる。しかも、研究、医療、施設の担当となる。なにも知らないことばかりである。これが終わると、私はここ国立特殊教育総合研究所長となる。このごろ20年も前に書いているボウリングの本がよく売れている。考えてみると、できもしないことをやって、私は履歴を詐称しているのだろうか。

地域社会と連携していく方法等々、学校体育の課題が山積しております。それらの解決に向けてますます学体連の充実発展を期待します。

「学体連会報」を親しく拜読しております。学校体育の発展のために努力されている関係者の方々の様子がよくわかります。又、学校体育に関する情報がよく整理されており、会員に有効に活用されております。更に、会報の充実のために、先生方の研究実践や指導上の諸問題についての意見等も内容とし、日ごろの学習指導への示唆を与えていくような編集も望まれるのではないかと考えます。そうすることによって、会員の方々にとっても、より親しみやすいものになると信じます。

全国保健体育優良校・功労者の表彰事業は学校体育指導者に大きな励みを与えております。受彰校では、学校のみならず地域をあげて受彰の喜びを味わっておる現状です。本県でもより以上に権威ある表彰にしていきたいために、推薦基準を明確にしていこうと学体連での検討課題となっております。学校体育研究に関する表彰が少ないだけに、本事業の充実発展することを期待しております。

初めに述べたとおり、昭和58年度全国学校体育研究大会は来たる11月17日、18日の両日にわたって本県で開催いたします。「運動の実践力を高める学習過程はどうあるべきか」の研究主題のもとに第1日目は全体会を、第2日目は分科会を県内18校(園)で研究発表(公開授業)及び研究協議を行います。学習指導上の今日的課題に焦点をあてて研究実践を積み重ねております。会場校はもとより、地域の学校ぐるみで研究実践に取り組んでおりますので、全国の学校体育指導者の期待に応えることができるものと信じております。多数の先生方に参加いただき、本県学校体育の充実発展のために御指導下さるようお願いいたします。

学体連に期待する

沖縄県教育庁保健体育課課長 豊島貞夫



復帰前、沖縄県教育庁が琉球政府文教局と呼ばれていた頃の話である。復帰の足音がもうかなりはっきりと聞こえるようになり、復帰対策の業務も繁忙を極めてきたが、早急に処理しなければならない業務が山積する中で、地方や本土政府との連絡調整に泣かされたのが電話であった。電話の使用料が多額になって予算のやりくりで困ったのと、話し相手がすぐには電話に出ず待ち時間の長さにイライラしたことであった。当時沖縄では市外通話はダイヤル化がされておらず、交換手を通したのであるが、回線が少ないこともあって順番待ちが長かったのである。交換手への申し込みは「普通」「至急」「特急」などの指定があり、「特急」でも待たされると「超特急」はないのかなどとどなる場面もしばしばであった。出勤早々に申し込んで、忘れて退庁した後につながり、残業の職員があわてて自宅まで連絡するという笑えない喜劇もあった。

現在一般に使用されているダイヤル電話は、0をまわしてもともどるのに遅いので1秒、速いので0.5秒ほどだという。ダイヤルをまわして相手が電話口に出るのに要する時間はおそらく20~30秒ぐらいが普通ではなかろうか。まさに隔世の感あり、である。このような話を持ち出したのは、世の中の変化のはげしさということを今更のように思いついたからである。いうまでもないが、このような急激な変化というのは電話に限ったことではなく、生活のあらゆる場面で起こっており、教育環境も例外ではない。教育環境が変われば当然昨日の指導法は今日は通用しない。かつて教育学の講義で「日々変わる者のみが教える資格を有する」といわれた師の言葉が鮮明によみがえる今日この頃である。

生活環境の変化といえば、変化の高速化ということと、豊かさ、便利さであろう。そしてこの豊かさ便利さ

は、人類が追求してやまない価値であるが、私たち体育にかかわる者の立場から見れば、手放して喜んでばかりおれないものである。

高度に文明化した生活は人々から運動の機会をうばい、人間関係を疎外し、栄養の過剰とアンバランスをもたらして心身の健康をむしろ損なう。かえて加えて冷暖房による動物本来の適応能力の停止もしくは衰退は、健康で活力ある生活から人びとを遠ざけてしまう。子どもたちの健康、体力も同次元の問題である。

このような状況の中で直接児童生徒の指導にたずさわる教師にとって研修こそは、教師が教師であるための生命線である。研修によってたえず自己変革をとげ、自己を高めることによってのみ、日々新たな生活環境の中に生きる児童生徒と向き合うことができるのではあるまいか。

しかしながら、個人研修にはおのずから限界がある。社会変化の高速化、情報過多、国際化社会といった現状ではなおさらである。

組織のもつ同時多角的視野や分業——協業のシステムは研修をより広がりや深みのあるものにするであろうし、このような機能を持つ研究団体の果たす役割は極めて大きいといわねばならない。

日本学校体育研究連合会は文字通りすべての学校段階、そして全国を網羅する総合的体育研究組織であり、現在のわが国における学校体育の課題を的確に把握、解決への手だてと実践力をもつものは他にないと考える。

学習指導要領の改訂に伴い、新しい動向として総則体育の考え方が打ち出され、また生涯体育の視点に立った体育指導が構想されるようになった今日、連合組織体としての学体連がその機能を十分に発揮し、学校体育の発展に大きく寄与することを切に願うものである。

学体連今昔

事務局長 重田 一

1 学体連の前身、日本体育指導者連盟の発足配給ということばを聞くと、どのようなイメージが浮かんで来るだろうか。欠乏、行列、残念、買うのに拘らず貰うという、このようなことがふと思い出されて来る。昭和21年5月、南支那から復員した私は、家の消息が分

からず、母の故郷神奈川県高座郡有馬村、今の海老名町に行った。玄関に入る前に、「京の家は焼けちゃったよ。」と伯母がいう。覚悟はしていたがやはりそうだったかと。やがて東京に帰り、間もなく静岡市立中学校に戻る。当時、魚の切身が月に2回配給。試験の監督をしていたら、小使

さん(当時こう呼んでいた)が、「先生、魚の配給、」と言ってきた。飛んで行きたくともそうはいかぬ。終わって行ったら売り切れ。理屈を言っても始まらぬ。残念至極、小さな板ガラス3枚を貰うのに冬5時に起きて並んだ。大切に持って帰る気持ち。

運動用具もこのようであったのだろう。物がなければ体育とはなりがたく、乏しい用具を一括手に入れるのが当面の具体的な仕事として発足したのが、日本体育指導者連盟

全国保健体育優良校・功労者の推移

第1表

優 良 校						功 労 者							
回	年度	小	中	高	養	計	回	年度	小	中	高	他	計
1	26	13	5	2		20							
12	37	23	17	8		48							
21	46	27	18	13		58	1	46	31	35	28	1	95
22	47	27	18	13		58	2	47	20	20	16	1	57
23	48	28	22	10		60	3	48	20	18	15	1	54
24	49	36	19	10		65	4	49	24	25	13	3	65
25	50	37	22	12		71	5	50	29	26	20	3	78
26	51	38	19	15		72	6	51	30	29	23	7	89
27	52	46	27	21		94	7	52	34	30	30	9	103
28	53	51	24	22		97	8	53	39	36	33	2	110
29	54	53	33	21		107	9	54	38	38	26	6	108
30	55	46	36	20		102	10	55	46	39	32	6	123
31	56	56	30	23		109	11	56	51	30	28	8	117
32	57	59	37	26		122	12	57	42	34	34	6	116
計	26 57	950	578	361	1	1,890	計	46 57	404	360	298	53	1,115

優良校では第2~11回、第13~20回を省略したが、「計」では全部加えてある。ひとつ学校で小中学校という名称が3校あるが、すべて小学校に入れた。養護学校が1校表彰されているが、これは第19回、昭和44年度である。

功労者のなかの「他」には、幼稚園、盲・聾・養護学校、大学、教育委員会を含んでいる。

3 財団法人日本学校体育研究連合会と全国大会
表中、昭和37年度を○印で囲んだのは、意味がある。昭和37年10月、財団法人日本学校体育研究連合会の設立が認可され、千葉県津田沼小学校で、第1回全国学校体育研究大会が行われ、そして学体連の総会でその設立を祝ったのである。

(1) 他教科に比べて、学校体育は全国の研究態勢が確立されておらず、その課題解決のための成果・実績は遅々たるものである。

(2) 昭和39年の東京オリンピックを2年後に控えている。これを機会に、また学習指導要領の改訂も手伝って、

だと聞く。昭和21年12月。そして配給。

2 財団法人日本体育指導者連盟と全国表彰

昭和25年2月、財団法人日本体育指導者連盟となる。27年3月(26年度)に、第1回全国保健体育優良校の表彰を行う。表彰された学校は20校。以後、どのように変わって行ったのだろうか。また功労者の表彰はいつから、そしてその推移はどうか。第1表をごらん下さい。

体育・スポーツの充実発展をはかるチャンスである。このような考え方から、全国的組織のもとに、その研究活動が活発になるよう、改組をしたのである。

このためには、各方面の理解と協力を戴いたのであるが、特に文部省の西田剛体育課長のあたたかく学体連を育成しようとする努力は、並々ならぬものがあつたという。

昭和37年11月8日、千葉県で行われた第1回全国学校体育研究大会、その後第2表及び第1図のように開催(決定、予定を含む)されて来ている。

特に昭和54・55年度、第18・19回を東京で開催せざるを得ない状況から、大阪、新潟が続いて第20回、21回を開いて下さった。今年第22回を神奈川が11月17、18日に、明年は沖縄、60年は鹿児島、61年が兵庫かということまで来ている。今年4月22日の学体連評議員会・理事会には、大阪、新潟、神奈川、沖縄、鹿児島、兵庫の会長が全員出席という状態。やがて東・中・西のような一定の順序に従って開催できるようにと、ご協力戴いて来ている。

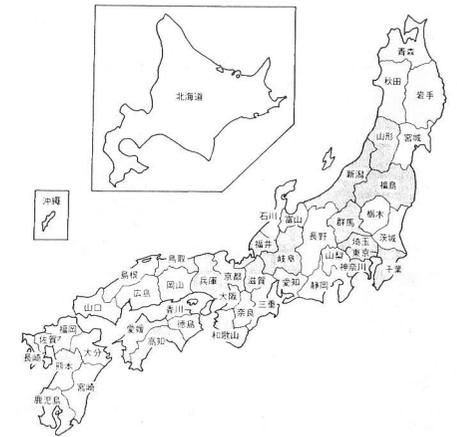
第2表

全国学校体育研究大会東・中・西部別開催一覧 (昭和61年度まで)

年度	回	東	中	西
昭和37	1	千 葉		
38	2		兵 庫	
39	3			鳥 取
40	4	東 京		
41	5		岐 阜	
42	6		大 阪	
43	7	福 島		
44	8			高 知
45	9			長 崎
46	10	埼 玉		
47	11		福 井	
48	12		和歌山	
49	13	山 形		
50	14	東 京		
51	15		滋 賀	
52	16			熊 本
53	17	群 馬		
54	18	東 京		
55	19	東 京		
56	20		大 阪	
57	21		新 潟	
58	22	神奈川		
59	23			沖 縄
60	24			鹿 児 島
61	25		(兵 庫)	
62	26			

第1図

全国学校体育研究大会開催一覧 (■は開催県)



4 学体連の目的と事業

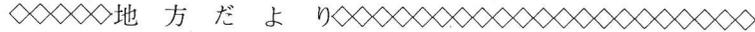
〒151 東京都渋谷区代々木神園町3の1
国立オリンピック記念青少年総合センター
第6号棟308号室 電話03-465-3954・7464 にある学体連は、「学校体育に関する研究調査ならびに学校における体育活動および体育研究活動に必要な援助を行い、あわせて学校体育指導者の資質向上を図るために必要な事業を行い、もって学校体育の発展に寄与することを目的と」している。

- そのために、次の事業を行っている。
- (1) 学校体育に関する研究調査
 - (2) 学校における体育活動および体育に関する研究活動の援助
 - (3) 学校体育に関する研究大会・講習会等の開催
 - (4) 加盟団体の活動援助
 - (5) 体育優良校および体育功労者の表彰
 - (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 現在は全国47都道府県すべてが加盟し、着々その成果を挙げつつある。

5 財 源 (昭和57年度決算による)

収入の部		支出の部	
(1) 加盟団体分担金	122	(1) 事務費	718
(2) 賛助会費	965	(2) 加盟団体補助費	232
(3) 基金利息	133	(3) 全国大会補助費	150
(4) 講習会受講料	34	(4) 機関誌作成費	93
(5) 図書出版	85	(5) 表彰費	209
(6) 補助金・寄付金	101	(6) 講習会費	62
(7) 雑収入	432	(7) 図書購入費	205
(8) 繰越金	310	(8) 研究大会費	40
(9) その他	63	(9) 会報費	42
計	2,245	(10) 基本財産繰入	61
		(11) 次年度へ繰越	311
		(12) その他	122
		計	2,245

ご協力とご支援をいただきたい、名実ともに、小・中・高校の、将来は幼稚園も、盲・聾・養護学校をも総括した学校体育の研究団体にするために。



山形県学体連だより

山形県学校体育研究連合会会長 河田 利 夫



去る7月5日、小・中・高等学校体育研究会の各代表及び学経からなる県学校体育研究連合会の「定例役員会」が開催されました。主な協議題は、本連合会の大きな事業である「学校体育研究発表大会のもち方について」であり、「楽しさと喜びのある体育学習をもとめて」のテーマを定め、来たる11月22日県庁講堂で開催することを決定いたしました。

本研究発表大会は長い歴史があり、第35回を数え、本県学校体育の充実、向上に極めて大きな役割を果たしてきたものであります。

特に昭和49年、本県で開催された全国学校体育研究大会を支える基盤となり、成功に向け大きな力となったことは関係者の一致した評価となっております。爾来「発表大会」の内容に象徴されるように、本連合会の活動が一層の弾みをつけ、年々その内容を充実、発展してきていることは、まことに欣快の極みであります。昨年度の「発表大会」の参加者は150名、発表題も25題を数え、県内各地から主体的に参加してくる会員の研究討議の熱気に触れるにつけ、

深い感慨を覚えることなくありません。

近年、児童・生徒をとりまく社会環境の変化には、めまぐるしいものがあり、児童・生徒の登校拒否や、怠学、非行の増加、心因性身体異常者の多発、さらには、体力運動能力の低下等、教育界は今深刻な憂慮すべき問題に直面しております。この状況下において、体育、スポーツの果たす役割は一段と大きいものになってきていることは言を待ちません。私も学校体育に携わる者が、小・中・高の枠をとり払い、互いに連携を図り、現実を見据え、教育の根幹に触れる取り組みをどう推進するか、極めて大きな課題を背負っているという事が出来ます。この中において本連合会では独自の表彰制度を制定し、学校体育の指導研究ならびに本会発表に功績のあった者を顕彰し、本会の一層の活性化を企図しておりますが、過日、長い歴史と実績を誇る本連合会にふさわしい「規約」の再整備を終わりました。私も本連合会の機能を十分に発揮し、時代をもとめる学校体育を希求し、今後の取り組みを一層推進してまいりたいものと意を新たにしているところであります。

愛知県学体連だより

—— 組織・活動について ——

愛知県学校体育研究連合会会長 古川 敏 治



小学校、中学校、高等学校の体育指導の一貫性に、極めて密接な連携を図りながら学校体育振興に寄与する、本県学校体育研究連合会の組織と活動状況について紹介いたします。

1 組織について

本県学校体育研究連合会に加盟する、国公立の学校数は実に小学校約960校、中学校約390校、高等学校約270校（定、通、特を含む）合計約1,620校と極めて過大な連合体である、したがって小・中学校は全県を尾張部体育研究会と三河部体育研究会の2ブロック、高等学校は5ブロックに分割し、又役員構成は小中高よりそれぞれ選出された会長で連合会の正副会を、理事以下の役員については、小中と高校ではほぼ同数を選出し会長以下21名で構成し、事務局を県教育委員会保健体育課内に置いている。

2 活動状況について

上記のような組織体であるため、各部会毎に体育の先生方が互に切磋琢磨し、より実践的研究の深まりを図っている。小中高ともそれぞれの小ブロック毎に、年3、4回の研究会を開催し、隔年毎に小中学校は各ブロック毎に、高等学校は全県でそれぞれ大規模な研究発表大会を開催している。57年度は次のような主題で、尾張部体育研究会は「運動の楽しさを味わわせることができる指導法の研究」三河部体育研究会は「めあてを持ち、はげましあい、がんばりぬく子どもをめざす体育学習」高校部体育研究会は「部活動と学習について」以上それぞれの部会で発表会が盛大に開催された。また保健体育優良校として小中高各2校と保健体育功労者に対する県表彰を毎年実施している。その他全国学校体育研究大会に代表者を参加させていることもつけ加えておく。

県民運動とスポーツ活動

山口県教育庁学校体育係長 前田 勇 四



昭和61年度の全国高等学校総合体育大会は、山口県を主会場として、中国5県で開催されることが決定し、今年9月には、準備委員会が発足の予定である。これに先立ち、本年8月2～4日まで、全国高校総合文化祭が開催され、高等学校における、芸術・文化の意識の高揚と全国高校生との交流が行われた。この後を受けて、61高校総体の準備体制にはいるわけであるが、本県では、県民のスポーツに対する意識の高揚とスポーツ活動の実践を図るため、7年前から「県民スポーツ総参加運動」を提唱し、各市町村、学校単位のスポーツ活動へ参加、また、小中学校を対象とする「少年スポーツ大会」中、高体連が主催する各種体育大会の運営に対する助成等この運動の定着化にさらに取り組

みたいと考えている。また、学校教育面では、体格（位）の伸びに対して、気力・体力の不足が論じられているおり、5年前から「たくましい防長っ子」づくり運動を提唱し、スポーツ活動や野外活動はもちろんであるが、「はだしの生活運動」「自らを鍛える運動」を推進して生涯体育（スポーツ）の定着を図りたいと考えている。

一方では、これらの諸運動を定着させながら、61年に高校総体を迎えることから、中・高校生を対象に、ジュニア競技力の向上、すなわち、選手強化対策を推進し、3年後の本大会を目指して、全国の強豪を迎えうつ優秀選手の養成にも力を注ぎたいと考えている。

熊本県学校体育研究会の歩みの概要

熊本県学校体育研究会会長 川 野 衡 平



本県では、戦後いち早く体育指導者連盟が結成され、種々の活動が始まりました。昭和23年以来、教育委員会を中心とした「保健体育研究発表会」が年々開催され、昭和38年2月7日・8日には、東京教育大学助教授土正彦先生を迎え、福岡県、佐賀県、鹿児島県の代表の参加を得て、第15回熊本県・第1回九州地区学校体育研究発表大会が開催されました。体育部門14、保健部門13の研究発表、本県最初の保健体育指導の手引書の説明、講演など盛り沢山の内容が消化されており、当時の意気込みがひしひしと感ぜられます。

このような雰囲気の中で、小学校・中学校・高等学校の体育研究会が、相前後して誕生し、組織的に研究活動が展開されるようになりました。その結果小・中・高一貫した指導が望まれるようになり、昭和40年4月1日、熊本県学

校体育研究会が誕生するに至ったのであります。

本会は、主な事業として、①指導法や施設用具等の調査研究、②資料蒐集や調査研究物の刊行、③講習会・研究発表会等の開催を掲げ、3年毎に小・中・高合同の県下大会を開催し、今年は第6回を数えております。この間、第16回全国大会、第8回・第16回の九州地区大会を主催し、その内容、運営ともに高い評価を受けました。本年3月、永年の念願がかない、全国大会以来、一貫した研究テーマである「主体的に創造し、自主的に実践する体育学習」に沿った研究発表や資料を収録した会誌を創刊し、さらに事業の充実を図ることができました。

本会の歩みを思うとき、先輩の残した偉大な足跡をさらに発展させる責務を痛感しております。

❖❖ 昭和58年度研究事業について ❖❖

各都道府県の58年度研究事業調査を6月7日にお願
し、6月25日までに返事を希望した処、7月末日現在で以
下のように頂戴することができた。

の発表会はいつ、どこで行われるのか等々が分ることは、
研修を深めるチャンスをつかむことになると思う。ご
活用下さい。

学校段階でどのような研究をしようとしているのか、そ
〈小学校の部〉

Table with 5 main columns: 都道府県, 研究主題, 研究担当, 研究発表 (期日, 会場), 研究発表会の名称. Rows include entries for 青森, 宮城, 山形, 茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 東京, 神奈川, etc.

Table with 5 main columns: 都道府県, 研究主題, 研究担当, 研究発表 (期日, 会場), 研究発表会の名称. Rows include entries for 山梨, 長野, 新潟, 富山, 石川, 福井, 岐阜, 静岡, 愛知, 滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, etc.

都 道 県	研 究 主 題	研 究 担 当	研 究 発 表		研究発表会の名称
			期 日	会 場	
奈 良	小学校における体育学習指導法についての研究	県下各小学校	58. 秋	奈良市鹿ノ台小学校	奈良県小学校体育指導研究会
	ゲーム及びびりレーについての指導のあり方	三和小学校	58. 11. 初旬	奈良県北葛城郡河合町三和小学校の予定	奈良県小学校体育研究大会
	小・中・高校の発達段階をふまえた保健体育学習のあり方	小学校・中学校・高校で研究発表者決定	59. 1. 予定	未 定	奈良県学校体育研究大会(小中高合同)
鳥 根	ひとりひとりが生き生きと取り組む体力づくり	鳥根県八束郡玉湯小学校	58. 10. 12(水)	鳥根県八束郡玉湯小学校	体力づくり研究発表会
	(未定)	鳥根県平田市久多美小学校	58. 11. 未	鳥根県平田市久多美小学校	鳥根県小学校体育科研究会
	楽しい体育学習を求めて	鳥根県江津市江津東小学校	58. 7. 27. 28(水・木)	鳥根県江津市江津東小学校	鳥根県女子体育指導者講習会
岡 山	なかまとともに運動の楽しさを味わい夢中になって運動する子どもを求めて	岡山県岡山市鹿田小学校	58. 10. 21(金)	岡山県岡山市鹿田小学校	岡山県小学校体育研究会
	生き生きと運動に取り組むたくましい子の育成	岡山県上房郡上竹荘小学校	58. 10. 25(火)	岡山県上房郡上竹荘小学校	〃
山 口	ひとりひとりが意欲的にとり組みできる喜びを味わう体育学習	下松市立久保小学校	58. 11. 8(火)	下松市立久保小学校	山口県小学校学校体育研究発表会
	運動に親しむ習慣を育てるための体育学習のあり方(領域 体操)	小松島市北小松島小学校	59. 1. 2(月)	徳島県青少年センター	徳島県学校体育研究大会
	〃	鳴門市瀬戸中学校	〃	〃	〃
徳 島	〃	徳島市国府養護学校(高校)	〃	〃	〃
	〃	徳島市城西中学校(女体連)	〃	〃	〃
	〃	〃	〃	〃	〃
高 知	ひとりひとりが意欲的に取り組み体力を高める授業をめざして	高知市各小学校	58. 11. 11(金)	小(小高坂小学校)	第23回高知県学校体育保健研究大会
佐 賀	力を合わせて喜びを高める体育学習を通しての体力づくり	佐賀県唐津市立大成小学校	58. 10. 19(水)	佐賀県唐津市立大成小学校	佐賀県教育委員会委嘱研究発表会
	仲よくみんなで作る体力づくり	神埼町立三田川小	58. 10. 26(水)	神埼町立三田川小学校	文部省指定体力づくり推進校継続研究
	充実感に満ちた学校生活の創造	佐賀市立菅楠小学校	59. 発表予定	〃	〃
熊 本	意欲的に体力づくりに取り組む子どもの育成をめざして	伊万里市立波多津小学校	59. 発表予定	〃	〃
	豊かでたくましい児童を育てる体力づくり	熊本県小学校教育研究会体育部会	58. 10. 27. 28(木・金)	熊本県庁地下熊本市立桜木小学校	熊本県学校体育研究大会
	よろこんで実践する体育学習をめざして	〃	58. 8. 12. 13(金・土)	熊本県荒尾市	熊本県小学校教育研究会体育部会夏季合宿研究会
宮 崎	生涯体育を志向し、自主的に実践する学校体育の推進をめざして	県内各地区より発表	58. 10. 28(金)	日向市立时光寺小学校	第24回宮崎県学校体育研究発表大会小学校部会
	〃	〃	58. 12. 2(金)	八重山	沖縄県学校体育研究発表大会

<中学校の部>

都 道 県	研 究 主 題	研 究 担 当	研 究 発 表		研究発表会の名称
			期 日	会 場	
青 森	教科の中での体力づくりはどうか	青森県東郡小湊中学校	58. 10. 6(木)	青森県東郡小湊中学校	青森県中学校教育研究会保健体育部会県研究大会
宮 城	基礎的運動能力を高めるための一考察	各地区代表	58. 11. 8(火)	県民会館	宮城県学校体育研究大会
山 形	運動の喜びが高まる体育の学習指導	大石田第一中学校	58. 9. 29(木)	大石田第一中学校	山形県中学校教育研究会体育研究大会
茨 城	運動の楽しさを味わわせる体育の指導 —「集团的スポーツ」について—	茨城県教育研究会体育研究部員	59. 2. 1(水)	水戸市民会館	学校体育研究協議会
栃 木	ひとりひとりが意欲をもっとりくむ剣道指導	二宮町立長沼中学校	58. 11. 14(月)	二宮町立長沼中学校	文部省指定格技指導推進校研究発表会
	仲間とともにきたえ合う体力づくり	塩谷町立玉生中学校	59.	塩谷町立玉生中学校	文部省指定体力づくり推進校研究発表会
	自ら考え自ら実践する体力づくり —自主的なグループ活動を足場に—	田沼町立西中学校	59.	田沼町立西中学校	県教委指定体育研究学校研究発表会
群 馬	女子ダンス講習会	日光市立東中学校	59.	日光市立東中学校	文部省指定格技指導推進研究発表会
	女子体育実技指導法研修会	石橋町立石橋中学校	60.	〃	〃
	県学校体育研究発表会	宇都宮市立宝木中学校	58. 8. 19(金)	県スポーツセンター	〃
埼 玉	保健体育授業研究会	中保体研女子部	〃 11. 17(木)~18(金)	〃	〃
	意欲的に取り組む生徒を育てる体育活動	中保体研研究発表部	〃 12. 7(水)	県青少年会館	〃
	自主的・自発的に剣道に取り組む生徒の育成	中保体研	59. 1. 下旬	未 定	〃
東 京	格技(剣道)の特性を踏まえた学習指導法の研究	熊谷市立荒川中学校	58. 10. 28(金)	熊谷市立荒川中学校	埼玉県体力向上推進校研究発表会
	体力づくりを目指した効果的指導法	北埼玉郡北川辺町立北川辺中学校	58. 11. 9(水)	北埼玉郡北川辺中学校	文部省格技指導推進校研究発表会
	心と体の健康づくり —学校の全機能を生かして—	浦和市立常盤中学校	58. 11. 22(火)	浦和市立常盤中学校	文部省格技指導推進校研究発表会
神奈川	生徒自ら運動に親しむ体育学習を求めて	練馬区立中村中学校	58. 6. 28(火)	練馬区立中村中学校	文部省体力づくり指定校
	強い心と体をもって実践する生徒の育成(格技)	墨田区立両国中学校	59年10月	墨田区立両国中学校	東京都教委、墨田区教委研究協力校
山 梨	やる気になって体育活動に参加する生徒づくり	各地区代表	59. 1. 28(土)	県立教育センター	神奈川県生徒体力づくり研究大会
新 潟	楽しく進んで運動にとりくむ生徒づくり	斐崎町立斐崎東中学校	59. 2. 14(火)	〃	〃
	めあてをもって運動、保健学習に親しませる効果的な指導 —体操、ダンスと健康安全—	新潟県東頸城郡松代中学校	58. 10. 19(水)	松代中学校	新潟県中学校教育研究会保健体育研究会
富 山	〃	五泉市橋田中学校	58. 10. 14(金)	橋田中学校	〃
	〃	富山県黒部市高志野中学校	58. 10. 19(水)	富山県黒部市高志野中学校	富山県中学校教育研究大会東部魚津地区部会
	〃	〃 富山市芝園中学校	〃	〃 富山市芝園中学校	富山県中学校教育研究大会東部富山地区部会

都 道 府 県	研 究 主 題	研 究 担 当	研 究 発 表		研 究 発 表 会 の 名 称
			期 日	会 場	
富 山	めあてをもって運動、保健学習に親しませる効果的な指導 ——体操、ダンスと健康安全—— ” ”	富山県新湊市新湊西部中学校	58.10.18(火)	富山県新湊市新湊西部中学校	富山県中学校教育研究会大会西部、高岡地区部会
		” 砺波市般若中学校	58.10.18(火)	” 砺波市般若中学校	” 西部砺波地区部会
石 川	自ら考え、正しく判断し、それを実践できる児童、生徒の育成をめざす体育指導	県内16郡市の学校体育研究会	58.11.10(木)	石川県金沢市長田町小学校	石川県学校体育研究会大会
福 井	未 定	小・中・高等学校体育研究会部会	59.2.9(木)	福井市(未定)	福井県学校体育研究会協議会
岐 阜	上達する喜びをひとりひとりのものにする授業をめざして	可児市立蘇南中学校	58.10.18(火)	岐阜県可児市立蘇南中学校	美濃加茂地区中学校保健体育研究会大会
静 岡	一人ひとりにやる気をおこさせる体育活動の指導	東部地区(三島)	58.8.9(火)	三島市立西小学校	静岡県教育研究会保健体育研究会集會
滋 賀	学校の実態や生徒の能力適性等に即した保健体育の効果的な学習指導はどのようにすればよいか ” (ダンス) ” (集团的スポーツ) ”	滋賀県彦根市彦根西中学校	58.11.29(水)	彦根西中学校	滋賀県中学校保健体育研究会部会、研究発表
		滋賀県甲賀郡水口中学校	58.12	甲賀郡水口中学校	”
		滋賀県愛知郡秦荘中学校	59.2	愛知郡秦荘中学校	”
		1~2校予定	59.2.17(金)	大津市滋賀会館中ホール	第22回滋賀県学校体育研究会発表大会
京 都	京都府中学校保健体育科代表会議	中教研体育部	58.6.28(火)	京都府勤労会館	”
	京都府中学校体育実技研修会	中丹ブロック	58.8.18(木)	綾部市地区	体育実技研修会
	府中学校保健体育研究会集會	中丹ブロック	58.12.上旬	舞鶴地区	京都府中学校保健体育研究会集會
兵 庫	運動の特性を生かした効果的な学習指導	神戸市立魚崎中学校	未 定	神戸市立魚崎中学校	兵庫県中学校保健体育中央研究大会
	中学校学校体育施設・用具実態調査	調査研究部	58.7.20(水)		
	中学校保健体育担当教員名簿作成	広報研究部	58.7.1(金)		
奈 良	体操、ダンス、保健についての学習指導法の研究	奈良市水門町(私立)東大寺学園中学校	58.11.下旬	奈良市水門町私立東大寺学園中学校	奈良県中学校保健体育研究会大会
鳥 取	未 定	福部中学校	58.11.4(金)	岩美郡小中、高校	鳥取県学校体育研究会大会
鳥 根	楽しい体育学習を求めて ” スポーツを通して、体力の増進とマナーの向上をはかる	鳥根県江津市江津東小学校	58.7.27(火)	鳥根県江津市江津東小学校	鳥根県女子体育指導者講習会
		鳥根県中学校体育連盟	59.1	鳥根県松江市	体育スポーツ研究懇話会
岡 山	主体的な生徒を育てる体育集団づくり	英田郡大原町東栗倉村学校総合立大原中学校	58.11.2(水)	大原中学校	岡山県中学校保健体育研究会
山 口	中学校における体力づくり	山口県中学校保健体育研究会部	58.11.30(水)	山口県吉敷郡小郡町公民館	山口県中学校保健体育研究会大会
徳 島	運動に親しむ習慣を育てるための体育学習のあり方(領域 体操) ” ”	小松島市北小松島小学校	59.1.23(月)	徳島県青少年センター	徳島県学校体育研究会大会
		鳴門市瀬戸中学校	”	”	”
		徳島市国府護護学校(高校)	”	”	”

都 道 府 県	研 究 主 題	研 究 担 当	研 究 発 表		研 究 発 表 会 の 名 称
			期 日	会 場	
徳 島	運動に親しむ習慣を育てるための体育学習のあり方(領域 体操) ” 学ぶ喜びと感動を味わう体育学習	徳島市城西中学校(女体連)	59.1.23(月)	徳島県青少年センター	徳島県学校体育研究会大会
		香川県中学校体育連盟研究会部会	59.10.(未定)	香川県仲多度郡琴平中学校	香川県中学校保体研究会大会 四国中学校保体研究会大会
愛 媛	個性豊かな人間性を育てる保健体育の指導法はどうあるべきか	愛媛県松山市立勝山中学校	58.11.28(月)	愛媛県松山市立勝山中学校	四国中学校保健体育研究会大会
高 知	ひとりひとりが意欲的に取り組み体力を高める授業をめざして	高知市各中学校	58.11.11(金)	高知市立城西中学校	第23回高知県学校体育保健研究会大会
佐 賀	意欲的に取り組み体育学習を求めて ——楽しい活気ある相撲学習——	武雄市立武雄中学校	未 定		
熊 本	自ら進んで実践する体育学習をめざして	上益城郡中学校体育研究会	58.10.27(木)	県庁地下大会議室、御船中学校	熊本県学校体育研究会発表大会
宮 崎	生涯体育を志向し、自主的に実践する学校体育の推進をめざして	県内各地区より発表	58.10.28(金)	日向市立時光寺中学校	第24回宮崎県学校体育研究会発表大会中学校部会
沖 縄	③生涯体育を志向し、自主的に実践する学校体育の推進を旨として ④課題を持ち意欲的に実践する体育学習		58.12.2(金)	八重山	沖縄県学校体育研究会発表大会

<高等学校の部>

都 道 府 県	研 究 主 題	研 究 担 当	研 究 発 表		研 究 発 表 会 の 名 称
			期 日	会 場	
青 森	課題をもって意欲的に学習に取り組む生徒を育てるにはどうすればよいか ” 授業における鉄棒運動の指導について	県内各高校	58.9.8(木)	青森県弘前市県立弘前南高校	青森県高等学校教育研究会保健体育部会
		県立板柳高校森 正則	”	”	”
宮 城	基礎的運動能力を高めるための一考察 表現、ダンス、集团的種目、個人的種目 ” 全体の主題は特になし(体育、保健、自由より)	各地区代表4名	58.11.8(火)	県民会館	昭和58年度学校体育指導者研修会兼研究大会
		6名	59.1.18(水)	勾当台会館	昭和58年度宮城県高等学校体育指導者研修会
秋 田	①自校の実態に即した年間指導計画について(体育) ②理解と定着を図る保健指導の展開について ③心に不安や悩みをもつ生徒の指導について(養教)	各高校	59.2.3(金)	能代市	秋田県高等学校保健体育研究会協議会
			4(土)		
山 形	生涯体育に結びつく学校体育 ” ダンス授業における表現について	山形県立天童高等学校	58.10.25.26(火.水)	県立天童高等学校	山形県高等学校保健体育研究会大会
		山形県立赤湯園芸高等学校	58.9.20.21(火.水)	県立赤湯園芸高等学校	山形県高等学校女子体育担当者研究会
茨 城	体育評定に関する一考察	茨城県高等学校教育研究会体育部研究委員会	58.12.2(金)	栃木県鬼怒川温泉ホテル	関東高校保体研究会大会
栃 木	生徒の実態に即した創作ダンスの指導 ” 教科体育における格技指導の効果的な技能づくり ” 教科体育における体力づくり 基礎体力を高めるための効果的指導	栃高教研保健体育部会ダンス部	58.6.27(月)	今市青少年スポーツセンター	昭和58年度高等学校ダンス研究会
		栃高教研保健体育部会格技部	58.10	栃木県武道館	昭和58年度柔道指導者研究会
		栃木県立石橋高等学校	58.12	石橋高等学校	昭和58年度高等学校保健体育教科研究会

都 道 府 県	研 究 主 題	研 究 担 当	研 究 発 表		研 究 発 表 会 の 名 称
			期 日	会 場	
群 馬	教科保健の学習指導について	栃木県立矢板東高等学校	59. 2	矢板東高等学校	昭和58年度高等学校保健学習研究会
	風にまけない体力づくり	各学校	58. 12. 7 (水)	群馬県青少年会館	群馬県学校体育研究発表会高校部会
埼 玉	運動の楽しさを味わせながらのぞましい態度の育成	教科体育研究班	59. 2. 7. 8 (火・水)	県立スポーツ研修センター	県高校体育研究協議会
	高校の部活動のあり方、その2	特別活動研究班	"	"	"
東 京	定時制体育のあり方、その2	定通研究班	"	"	"
	楽しい保健の授業をもとめて	教科保健研究班	58. 11. 11 (金)	浦和	県高校保健研究協議会
神 奈 川	「体育学習における望ましい態度・習慣の育成」体育学習に対する教師・生徒の意識調査結果の考察	体育部	59. 2	都立市ヶ谷商業高校	東京都高等学校保健体育研究会
	「高校生の性的実態」10年間における変化と問題点	保健部	"	"	"
	ビデオを活用した効果的な授業	視聴覚部	"	"	"
	定時制の保健体育におけるスポーツテストの意義と分析手法の検討	定時制部	"	"	"
山 梨	第18回神奈川県高等学校生徒体力づくり兼高等学校教科研究会保健体育部会7部会	8部門別発表	59. 3. 6 (火)	県立教育センター	神奈川県高等学校生徒体力づくり研究大会
	「学校、家庭及び地域社会においてスポーツ活動を活発にし、体力づくりの生活化を図るにはどのようにするか」				体力づくり研究大会
山 梨	バレーボールの効果的指導について	保体研体育班	58. 12. 3. 4 (土・日)	栃木県	関東地区高等学校保健体育研究大会
	保健学習の効果的指導について	" 保健班	59. 2. 14 (火)	山梨市	山梨県学校体育研究大会
新 潟	体育的行事の効果的な計画・実践について	" 学校行事班	"	"	"
	健康管理について	新潟県高校養教研究会	58. 11. 10 (木)	新潟市の予定	新潟県高等学校教育研究会保健体育部会
富 山	ストレッチングの理論と実践	新潟県高教研保体部佐渡支部	58. 9月下旬	佐渡の予定	"
	学校ダンスの進め方	新潟県高教研保体部女子部会	58. 11. 14 (月)	新潟県立新潟中央高校	"
富 山	体育科の効果的指導について	婦負郡中央農業高校 高岡市高岡高校	58. 10. 5 (水)	富山市丸の内会館	富山県高等学校教育研究会体育保健部会
	"	富山県新川地区高校体育保健学会	58. 11. 上旬	富山県中新川郡上市高等学校	富山県高校保健体育研究協議会
福 井	創作ダンスの効果的指導について	県高校体育保健女子部会	58. 8. 23 (火) 24 (水)	富山県富山市 富山東高等学校	県高校創作ダンス講習会
	未定	小・中・高等学校体育研究会	59. 2. 9 (木)	福井市(未定)	福井県学校体育研究協議会
岐 阜	新学習指導要領の主旨をふまえて作成した指導計画をもとに各運動領域の効果的な指導方法について	高等学校保健体育部会	58. 8. 19 (金)	未 定	教育研究会保健体育部会中間発表
	"	"	59. 2. 17 (金)	多治見市	教育研究会保健体育部会研究協議会

都 道 府 県	研 究 主 題	研 究 担 当	研 究 発 表		研 究 発 表 会 の 名 称
			期 日	会 場	
静 岡	「体育指導の手引」による指導実技の演習	沼津市立高等学校	58. 10. 12 (水)	沼津市立高等学校	静岡県教育研究会体育部会東部支部研究大会
	人体博物館見学、研究授業	東海大学第1高等学校	58. 11. 15 (火)	東海大学第1高等学校	" 中部支部研究大会
愛 知	柔道、陸上競技、バレーボールの研究授業を学年別に実施、午後「講演」	掛川工業高等学校	58. 11. 18 (金)	掛川工業高等学校	" 西部支部研究大会
	全県体育研究会としては「教科・保健学習の研究」をテーマとして研究したいと考えている。				
滋 賀	部活動と学習	愛知県立久比高等学校	59年度に予定	未 定	愛知県高等学校体育研究大会
京 都	保健体育科の授業を効果的に展開するためにはどうすればよいか —選択性について—	県高等学校保健体育研究会	58. 12. 上旬	未 定	県高等学校保健体育研究大会
	バスケットボール、ナギナタ実技研修	1校予定	59. 2. 17	大津市滋賀会館中ホール	第22回滋賀県学校体育研究発表大会
大 阪	バレーボール、ソフトボール、卓球の実技研修会	府立桂高校・城陽高校 小林輝彦、高木美代子教諭	58. 6. 14 (火)	府立桂高等学校	府立高等学校保健体育科第1回研究協議会
	西日本高等学校教育課程運営改善講座伝達講習	洛西高校(中村教諭)府教委(土村指導主事)	58. 7. 12 (火)	府立園部高校	" 第2回研究協議会
兵 庫	ジャズ体操、ラグビー審判法と実技研修会	日吉ヶ丘高校(河原敏子教諭)亀岡高校(延増正三教諭)	58. 11. 上旬	府立北嵯峨高校	" 第4回研究協議会
	「体力づくり」「格技」のとりくみの報告	府立八幡高校 府立朱雀高校	59. 2. 上旬	府立久御山高校	" 第5回研究協議会
大 阪	研究発表大会		58. 11 (初)	未 定	
	"		59. 3 (初)	なにわ会館	
奈 良	テンセパレートマシンを利用したトレーニング	県立御影高校	58. 5. 20 (金)	県立御影高校	兵庫県高等学校体育研究会
	部活動研修会	県立西脇工業高校他	58. 7. 5 (火)	神戸市勤労会館	"
大 阪	選択制授業を実施して 高等学校保健体育担当教員名簿作成	未 定	58. 8. 5 (金) 58. 5. 20 (金)	未 定	"
	研究主題は各担当校で決定	一条高等学校	58. 秋の予定	奈良市立一条高等学校	奈良県高等学校保健体育学習指導研究会全県及び北部ブロック
大 阪	"	橿原学院高等学校	58. 秋の予定	橿原市(私学)橿原学院高等学校	" 中部ブロック
	"	御所東高等学校	58. 秋の予定	御所市県立御所東高等学校	" 南部ブロック
大 阪	○運動の特性や課題に応じた効果的な学習指導法の研究 ○集団の健康に関する事項を理解させる指導計画及び学習指導の研究	県下全高等学校	58. 8. 25 (木)	県立北和女子高等学校	教育課程研究集会

都 道 府 県	研 究 主 題	研 究 担 当	研 究 発 表		研 究 発 表 会 の 名 称
			期 日	会 場	
鳥 取	未定	東部地区高校 岩美高等学校	58.11.4(金)	岩美高等学校	鳥取県学校体育研究 大会
島 根	未定	島根県浜田市 浜田高校	58.10.末	島根県浜田市 浜田高校	島根県高等学校教育 研究会保健体育研究 会
岡 山	楽しい体育学習を求めて	島根県江津市 江津東小学校	58.7.27.28 (水.木)	島根県江津市 江津東小学校	島根県女子体育指導 者講習会
山 口	高校生における体力づくり	県立岡山工業 高等学校	59.2.10(金)	県立岡山工業 高等学校	高等学校体力づくり 研究発表会
山 口	主体的に体力づくりに取り組む生徒の育成	県立下関工業 高校	59年秋	県立下関工業 高校	山口県高等学校教育 研究会保健体育部会
徳 島	運動に親しむ習慣を育てるための体育学習のあり方(領域・体操)	小松島市北小 松島小学校	59.1.23(月)	徳島県青年 センター	徳島県学校体育研究 大会
	〃	鳴門市瀬戸中 学校	〃	〃	〃
	〃	徳島市国府養 護学校(高校)	〃	〃	〃
	〃	徳島市城西中 学校(女体連)	〃	〃	〃
香 川	視聴覚機器を使つての実技の効果的な指導法について	高松東高校	59.9.3(土)	県総合会館	香川県高等学校保健 体育研究発表大会
	陸上競技を興味づける効果的な指導法について	坂出商業高校	〃	〃	〃
	剣道の授業を意欲的に取り組ませるには	高瀬高校	〃	〃	〃
	ダンス指導の一考察	明善高校	〃	〃	〃
愛 媛	研究授業	愛媛県立土居 高等学校	58.11.21(月)	愛媛県立土居 高等学校	愛媛県高等学校東予 地区保健体育研究会
	研究授業(集団行動、ハンドボール)	愛媛県立松山 北高等学校	58.6.28(火)	愛媛県立松山 北高等学校	愛媛県高等学校中予 地区保健体育研究会
	研究発表・実技研修	愛媛県立三瓶 高等学校	58.7.7(木)	愛媛県立三瓶 高等学校	愛媛県高等学校南予 地区保健体育研究会
高 知	ひとりひとりが意欲的に取り組み体力を高める授業をめざして	高知市各高等 学校	58.11.11(金)	高知県立丸の 内高等学校	第23回高知県学校体 育保健研究大会
佐 賀	剣道の基本動作や对人的技能を身につけ応用できるようにすると共に徳育面の高揚	佐賀県立三養 基高等学校	未 定		
長 崎	体育授業とバイオリズムについて	県立大村工業 高校	58.10.27(木)	県立大村工業 高校	長崎県高等学校教育 研究会保健体育部会 (地区指定発表)
	生涯体育に結ぶ学校体育(エアロビクス実践を通して)	県立長崎北陽 台高校	58.11.29(火)	県立長崎北陽 台高校	長崎県高等学校教育 研究会保健体育部会 (県指定中間発表)
	特色ある体育経営をめざして	県立佐世保南 高校	58.12.1(木)	県立佐世保南 高校	長崎県高等学校教育 研究会保健体育部会 (県指定本発表)
熊 本	みずから実践する体育学習	鹿本高校	58.10.27.28 (木.金)	県庁地下大会 議室 県立熊本農業	熊本県学校体育研究 大会
宮 崎	生涯体育を志向し、自主的に実践する学校体育の推進をめざして	県内各地区別 発表	58.10.28(金)	県立日向高等 学校	第24回宮崎県学校体 育研究発表大会高等 学校部会
沖 縄	①生涯体育を志向し、自主的に実践する学校体育の推進を自さして ②生涯体育を自さし、ひとりひとりが自主的に取り組む体育学習		58.12.2(金)	八重山	沖縄県学校体育研究 発表大会

神奈川大会において下さい

神奈川県学校体育研究連合会会長 田代七男

2年の準備期間は、今にして思えば決して長いものではないが、兎にも角にも「運動の実践力を高める学習過程はどうあるべきか」を研究主題として、幼稚園、小・中・高校、盲・聾・養護学校の関係者の努力が今日を迎え、全国から多数の先生方のおいでをお待ちできるようになりました。

神奈川大会の準備を進める私共の願いは、全国の先生方とともに活発な協議によって研究を深めること、それによって人と人との交流ができ、啓発されることです。また神奈川県のあるままの姿を知っていただきたい。そして、全国大会のよき雰囲気、59年度開催の沖縄県に引き継ぐことです。

以下紙面の許す範囲で、神奈川大会の要点を記します。

- 1 研究主題 前述
- 2 部会研究主題
 - (1) 幼稚園 仲間と夢中に遊ぶ子どもを育てるためにはどうすればよいか。
 - (2) 小学校 運動の楽しさを知り、自ら意欲的に活動する学習過程はどうあるべきであるか。
 - (3) 中学校 生徒が進んで課題を設定し、それを解決していく学習過程はどうあるべきか。
 - (4) 高等学校 生徒が運動の必要性を認識し、実践力をつけていく学習過程はどうあるべきか。
 - (5) 盲・聾・養護学校 児童・生徒が障害をのりこえ、運動する喜びを味わえるようにするための学習過程はどうあるべきか。

図書紹介

スポーツの見どころシリーズ 同文書院

学体連常務理事 伊藤忠一



このシリーズで、現在までに刊行されている本はバレーボール、陸上競技、テニス、体操競技、卓球の5冊ですが、観戦者を意識して書かれているという点で、非常にユニークなスポーツ書だと思います。

学校図書館に備えておけば、生徒たちは気軽な気持ちで読み始め、ぐいぐいとスポーツの面白さにひきこまれて、今までは違った観戦の楽しさを味わうことができるでしょう。

バレーボールを見るための本の著者、五十嵐紀雄氏は、

3 日程 11月17日(木) 横浜市・神奈川県民ホール 10~12時、表彰式、開会式、実技発表。

13時30分~15時30分講演 横浜国立大学教授奥田真丈先生 「豊かな人間性の育成をめざす教育課程の編成」〔15時30分~都道府県代表者会議〕

11月18日(金) 9時30分より分科会、公開授業
横浜市 ②間門小 ③本宿小 ④篠原西小 ⑤中和田小
①鶴見中 ②橋中 ③戸塚高 ④金井高 ⑤荏田高
⑥本郷養護

川崎市 ①鷺沼小付幼 ②戸手小 ③鷺沼小 ④東生田小
⑤富士見中 ⑥平間中

横須賀市 ⑦走水小
小田原市 ⑧前羽小 (○印内は分科会固有番号)

4 参加費 4,500円
5 昼食 第1日目 会場近くの店をご利用下さい。
第2日目 分科会場で弁当 600円

6 参加申込 都道府県教委経由で申し込む。

(1) 申込先 〒231横浜市中区弁天通り6-85字徳ビル
3階 近畿日本ツーリスト横浜ユーストラベルセンタ
ー 電話 045-201-6551

(2) 振込先 都道府県教委名 東海銀行横浜支店 口座
番号 334649 普通預金 近畿日本ツーリスト 横浜
ユーストラベルセンター

(3) 申込期限 この会報を見たらすぐに。
7 大会事務局 電話 045-201-1111 内線5347
是非おいで下さい。

バレーボールマガジンの編集長でプレーヤー出身ではありませんが22年間にわたって編集者としてバレーボールを外側から冷静な目で眺めてきた方ですから、見る側の人々が何を求めているかを知り尽くしており、従来の頼書にはない読みやすさと親しみやすさがゲームを楽しく見るコツを読者に教えてくれるでしょう。

体操競技を見るための本は遠藤幸雄氏、小野清子氏、卓球を見るための本は荻村伊智朗氏が書いており、五十嵐氏とは逆に世界的プレーヤーとして一世を風靡し、現在指導

者として競技界に影響を持っておられる方々で、多くの連続写真と図解によって、競技会で演じられている技のほとんどが、わかりやすい平易なことばで説明されています。テレビ、新聞などで知っている有名選手の特徴なども側にいる人でなければわからないことがらを知ることがで

ぎょうせい

「親と子のライフ&スポーツ」

完 結 ！

「親と子が一緒になって、スポーツに親しみ明るい健康的な生活を送ることは、だれもが望んでいる。

しかし、その方法となるとなかなか難しい。そこで、いろいろな角度から親と子の参考になる生活でのスポーツ・健康増進の方法をまとめてみたのがこのシリーズである。

したがって、題目も系統的にひき出したものではない。まったくの思いつきである。もちろん、若干の基準はある。それは、多くの人びとが関心を持つてであろうと思われるテーマを選ぶことである。

一般に流行度の高いものが、その内容についてよく知られているとは限らない。「あら、こんなことが知られなかったのか」と、驚くことがある。

スポーツだけでなく、人間の生活万般について、同じようなことがいえるのではないだろうか。

ここにスポーツをとりあげながら、親と子の対話を多くしたり、親の愛情が子につたわるようにと願った。」

と、学体連の大石三四郎会長はこの「親と子のライフ&スポーツ」の前がきで述べている。

そのような気持ちだが、世の子をもつ親の願いひとつになり、少しずつ具体化して遂に12巻完結した。

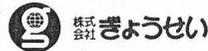
わんぱくでも健康でと願う親に、そして先生に、意外な相談相手になってくれるのがこの本である。知ってるさ、こんなこと……と思うところもあろうが、ほう、これは知らなかったなあと、正直言って脱帽させられるところもあって、段々と具体的に生きて行くのがこの本の中味である。どれから読んでもかまわない。オールシーズンのものであれば、シーズンにふさわしいものもある。早めに読んでシーズンにそなえれば、大人もわくわくするようになる。薄い本が厚味を感じさせる時である。

き、親しみが増してくるでしょう。どの本も歴史から各種目技術の特徴までを豊富な写真と貴重な資料を駆使して、わかりやすく解説してあり、体育関係者にとっても、役立つ参考書として活用できる内容をもったシリーズです。つぎの企画にも期待したいと思います。

(財)日本学校体育研究連合会／編集
親と子のライフ&スポーツ

書 名	定 価
子どもとお菓子	950円
子どもとボウリング	950
子どもと水あそび	950
子どもと自転車	950
子どもと雪あそび	1,100
子どもとキャンピング	1,100
子どもと遊びの歳時記	1,100
子どもと運動ぐつ	1,100
子どもとラケット・スポーツ	1,000
子どもとジョギング	1,100
子どもと事故防止	1,100
子どもと運動あそび	1,100

申し込みは下記へ



本 社 東京都中央区銀座7-4-12(〒104)
本社営業所 東京都新宿区西五軒町52(〒162)
電話(03)268-2141(大代表) 振替東京 9-161



コロバイン

着る身になって良い品づくり



スポーツウェア

(財)日本学校体育研究連合会特別賛助会員

児島株式会社

倉敷市児島小川2丁目4番60号 TEL(0864)72-2830(代表)
営業所 (名古屋・東京・大宮・盛岡・札幌)

児童・生徒の為に

最適な体育衣料を真剣に考える



Yacht[®] スポーツウェア

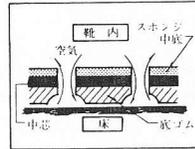
明石被服興業株式会社

本 社 〒711 岡山県倉敷市児島田の口1-3-44 TEL(0864)77-7701
東京支店 〒103 東京都中央区東日本橋1-4-10 TEL(03)861-1917
大阪営業所 〒541 大阪市東区北久太郎町4-55-703 TEL(06)245-7461
船場グランドビル7階
福岡営業所 〒812 福岡市東区多の津1-1-9 TEL(092)622-2521
宇部営業所 〒759-02 山口県宇部市厚南区際波 TEL(0836)41-7311

～ 斯界の待望に応え、
絶讃をあびて遂に登場した～

呼吸シューズ

○実公報 昭53-40340号
○商公告 昭54-14325号
○意願 3895号



(体育館用・
上ばき用)

(サイズ)
14.0～27.0

(カラー)
青赤緑黄白

— 3つのドキュメント —

- 靴底に絶えず新鮮な空気の流れる……………呼吸シューズ
- 運動の度に吸気、排気を忠実に実行する……………呼吸シューズ
- 靴底に輝かしい光のさし込む……………呼吸シューズ

(財)日本学校体育研究連合会特別賛助会員
日本教育シューズ協議会

快 適 な

サイクル・ライフを創る

丸石サイクルは、70有余年、自転車づくり一筋に
専念してきました。
そこで生まれた技術のひとつひとつを
大切に、より確かな製品を作り、
皆様に快適なサイクル・ライフをお届けするこ
とが、私たちの限らない喜びです。
この喜びが糧となり、
また新しい技術を生みだし、
磨き上げられた技術を時代のニーズに対応さ
せ、柔軟な頭脳と独創力で開発することが、
いつまでも新しい丸石サイクルを
築き上げているのです。



快適なサイクル・ライフを創る
丸石サイクル

アサヒ学校用体育館履

体育10型

色=ブルー・赤・グリーン・黄
サイズ=21.5→29.0cm
(27.5cmあり)



ランプレイ

色=エンジ・黄・グリーン・ブルー
サイズ=21.0→29.0cm(27.5cmあり)



ベルマーク運動参加商品
●(財)日本体育協会協賛商品
(財)日本学校体育研究連合会賛助会員

アサヒ靴

日本ゴム株式会社

運動のたのしさ、喜びを体得させる

1-6年生の体育

監修 筑波大学教授 山川岩之助



- 全学年見やすいワイド判(B5判)
- 学校の創意を生かして指導できる領域別編成
- 運動の仕方や練習方法がよく分かる豊富な写真や図版

児童書250円 教師用指導書1200円

株式
会社 文溪堂

東京都千代田区神田錦町1-21-3 〒101 電話(03)293-8505(代)
東京都練馬区豊玉中3-10 〒176 電話(03)993-4411(代)
岐阜市長住町9-26 〒500 電話(0582)51-1121
羽島市江吉良町2717 〒501-62 電話(0583)98-1121
大阪市西成区北津守1-1-2 〒557 電話(06)562-4535(代)

